

「付属校ならではの壁」 高Ⅱ Fさん (高校一般入試)

受験生の皆さん、こんにちは。日々の勉強本当にお疲れ様です。

僕からは学校入学後のこと、特に内部生と高入生の合流についてお伝えします。

この内部生と高入生の合流について、不安に思っている受験生は非常に多いでしょう。僕自身も、学校説明会等で両者間の壁はすぐになくなると聞いてはいたものの、不安感は強かったです。実際入学してみると、確かに壁は比較的すぐになりました。林間学校が入学後の割と早い時期にあり、そこでの班分けの仕方などが内部生と高入生の合流を意識したものだだったため、そこでまず少し壁がなくなったと思います。他にも球技大会などのイベントを通じて次第に壁は薄れていきました。しかし、壁がなくなってもやはり多少の苦労があったというのが正直なところです。1年目は特に、高入生は内部生のように他クラスに友人がたくさんいるわけでもないのに、日々の生活の中でなにか疎外感のようなものを感じる瞬間は何度かありました。僕は部活の同期の人数が少なかったこともあり、他クラスの友人関係があまり広がらず、人一倍それを感じていたように思います。中には対人能力の高さでそれをもろともしない人もいましたが、多くの人には難しいものだと思います。内部生に対しては壁というよりかは羨ましさのようなものを感じていました。でも高校2年生になると、そのような感情を抱くことはだんだんと少なくなりました。2年目になり友人関係も広がってきて、苦労も減りました。クラスでいつも一緒にいる友人も内部生と高入生とで半々くらいです。

長くなりましたが、内部生と高入生の合流については、そこまで深く考える必要はない、というのが結論です。人によっては1年目、僕と同じように苦労するかもしれません。ですがそれはもう「高入生なのだからある程度は仕方がない」と割り切ってしまう他ないでしょう。そうすれば、高入生であっても高校生活を問題なく楽しめると思います。

これを読んでいる皆さんと明治高校で会えることを楽しみにしています。